

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	国語	種目	国語
----	----	----	----

発行者略称	38光村	教科書名	国語
-------	------	------	----

## 所 見

### 1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- 「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「話す」「聞く」「話し合う」言語活動の中に「受けて返す」系列を設け、計画的かつ系統的に学習できるよう構成している。
- 伝統的な言語文化を学ぶために、全学年に民話や昔話を聞いて楽しむ教材を位置づけ、高学年では、古文、漢文などの古典教材を扱っている。

### 2 内容について

#### <基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫>

- 身につけさせたい話形や文型が、てびきの中に例示されている。
- 「言葉の宝箱」が各学年の巻末にあり、言葉を広げる学習に役立つ内容となっている。

#### <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫>

- 長い説明的文章の前に短い文章が載っている。形式段落の番号とはじめ・なか・おわりが書かれていて、子どもたちは構成を意識して文章を読むことができる。次の長い文章も、前回つけた力を活用して読むことができる。
- 巻末にある「言葉の宝箱」は、子どもたちの表現力を豊かにすることができる。自分で言葉を探していくのは難しいが、一覧になっていれば自分の今の気持ちから一番ふさわしい言葉を自分の力で選ぶことができるのでとても有効である。

#### <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫>

- 主体的に学習が進められるように、3年生以上は巻頭に「学習をみわたそう」を設け、また、2年生以上に「たいせつ」「ふりかえろう」を提示し、見通しをもって学習できるようにしている。
- 他教科との連携が図られている。(生活科、社会、総合的な学習の時間 等)

#### <言語感覚を養うための工夫>

- 読書力の育成のために、読書単元「本は友達」や読書紹介「この本読もう」を掲載している。各学年ともさまざまなジャンルの本が全学年を通して400冊以上紹介されている。

#### <国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫>

- 伝統的な言語文化に関する教材や資料が適切に掲載されている。
- 全学年に民話や昔話の読み聞かせ教材「聞いて楽しもう」が位置付けられている。
- 「季節の言葉」のページが適した時期に適切に設定しており、日本の四季を豊かに感じる言葉や詩・俳句に触れることができる。

### 3 資料について

- 挿絵と吹き出しで示すことにより、交流の仕方、学び方がわかりやすい。
- 親しみのあるマークで何を勉強するのか、何が大切なのかが一目でわかるよう工夫されている。
- 地の色と吹き出しやメモ、大切なポイントが書かれている枠の中の色を変えてあり、見やすい。
- 字が大きく読みやすい。(1ページ10行)

### 4 表記・表現について

- 分かち書きは、2年上巻途中までである。

### 5 全体的な特徴、その他

- 5・6年は学習を見通したり振り返ったりし、主体的な学習を促したり、中学校教科書へのスムーズな移行のために上下巻を合わせて一冊としている。
- 言語活動が明確。
- 低学年では、音声言語や伝え合いが充実している。
- 文学的文章は、子どもたちの興味をひいてそこから学んでいけるよい作品が多い。

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	国語
----	----

種目	国語
----	----

発行者略称	17 教出
-------	-------

教科書名	ひろがる言葉 小学国語
------	-------------

所 見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では「日常化をはかる」「スピーチ」「話し合い」「説明・報告」の四つの系列に分け、計画的かつ系統的に学習できるよう構成している。</li> <li>○伝統的な言語文化を学ぶために、「文化」という項目を設けて、昔話、神話、短歌、俳句、古文、漢文などの古典教材を扱っている。</li> </ul> <p>2 内容について</p> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ここが大事」や「この本で学ぶこと」など学習のポイント（指導事項）がまとめてあり、内容の理解や定着を図るよう工夫されている。</li> <li>○「脚注」「てびき」「付録」のコーナーや教材の中で語彙を増やす工夫がされている。</li> <li>○身につけさせたい話形や文型が、てびきの中に例示されている。</li> <li>○1年下巻からしっかり書かせる内容になっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○帯単元で、継続し繰り返し取り組むことで、定着と表現力を身につけられるよう工夫されている。</li> <li>○子どもたちが考えるときの観点や学び合いでの発言例を示し、考える力や伝え合う力を身につけさせている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学習できるように、学習の手引きを設け、学習の目的、内容、方法、過程をわかりやすく提示している。</li> <li>○「書くこと」「話すこと・聞くこと」の教材では、「学習の進め方」を明示し、何をどのように学ぶのか見通しをもって学習できるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで読書する子を育てるために単元末に「本を読もう」や巻末に「〇年生で読みたい本」のコーナーが設けられている。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音読・暗唱に適した古文・漢文の代表的な作品に加え、四季折々の美しい言葉を味わう小教材や、昔から親しまれてきた言葉遊びなどの小教材を位置付け、日本語のリズムや響きを感じられるようにしている。</li> </ul> <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1、2年生の教科書にはポップアップやカルタが掲載されていたり、穴のあいた加工などされていたりして、子どもたちが楽しく学べる工夫がある。</li> <li>○付録の「言葉の木」は、気持ち・感じ・見る・取る…など関連付けて語彙を増やせるのが面白い。</li> <li>○交流の仕方、活動の仕方等が挿絵で示されわかりやすい。</li> <li>○文章の理解を助けたり、想像を膨らませるのに適した、写真や挿絵、図が取り上げられている。</li> <li>○文章の行間があり、書き込みがしやすい。（1ページ10行）</li> <li>○メモやカードの例は、淡い色で統一され、すぐに記入例であるとわかりやすい。</li> <li>○字が大きく読みやすい。</li> </ul> <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分かち書きは、2年上巻途中までである。</li> </ul> <p>5 全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙絵が明るく、時期にふさわしい絵となっており、新鮮である。裏表紙とつながっていて楽しい印象を与えてくれる。</li> <li>○町の行事についてや祭り、町のベスト・スリーなど、郷土に対する愛着をはぐくむ題材が取り上げられている。</li> <li>○詩のページが白紙となっていて、詩の言葉からのみ情景を想像させるよう工夫している。</li> <li>○言語活動では、書く活動が充実している。</li> </ul>

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	国語
----	----

種目	国語
----	----

発行者略称	2 東書
-------	------

教科書名	新編 新しい国語
------	----------

## 所 見

### 1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- 「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「話す」「聞く」「話し合う」「説明・報告」の四つの系列に分け、計画的・系統的に学習できるよう構成されている。
- 伝統的な言語文化を学ぶために、教材「日本の言の葉」を1年は1か所、2年以上は2か所設けている。また、高学年では、古文、漢文などの古典教材を扱っている。

### 2 内容について

#### <基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫>

- 全学年に「国語ノートの作り方」が設けられ、学習の基盤となるノートづくりの参考になる。
- 前学年で習った漢字のページが適所に示されている。

#### <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫>

- 思考力・判断力をつける教材が盛り込まれている。
- 児童に不足している力、「資料を活用して」書く、自分の意見や考えを伝えるプレゼンテーションでは、図や文で例示されている。教える側も児童も取り組みやすい。
- 新聞や資料の「読み比べ」の学習が学年に合わせて教材化されていて、今、必要とされている学習内容となっている。

#### <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫>

- 「てびき」が充実しており、何を学ぶのか、どのように学ぶのかが具体的で、ノートのまとめ方、メモの仕方なども例示されており、子どもたちが主体的に学習できるように工夫されている。
- 「漢字の学習」が随所に設けられ、また巻末にその答えがあり、主体的な漢字の学習ができる。

#### <言語感覚を養うための工夫>

- 進んで読書する子を育てるために単元末に「こんな本もいっしょに」や「本は友達」のコーナーが設けられている。

#### <国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫>

- 伝統的な言語文化に関する教材や資料が適切に掲載されている。
- 「日本の言の葉」「日本語のしらべ」が設けられ、代表的な古典作品や詩歌、言葉に親しんだり、味わったりしながら我が国の優れた言語文化への理解を深め、豊かな言語感覚を培うことができる。
- 日本特有の四季や文化を大切に、また、継承していく心を育ませるような教材を用いている。

### 3 資料について

- 各学年末の「言葉の力のまとめ」では、何をどこまで学んだかを確認するための資料として用いることができる。
- 巻末に学習に使う言葉や文章の種類、原稿用紙の書き方などが解説されている。
- 脚注野に、5行ごとの行数時に加え、ドットで1行ごとに示されているので、行を見つけやすい。
- 行間や空間がゆったりとしており、読みやすく、書き込みにも便利である。

### 4 表記・表現について

- 分かち書きは、2年下巻までである。

### 5 全体的な特徴、その他

- 5・6年は学習を見通したり振り返ったりし、主体的な学習を促したり、中学校教科書へのスムーズな移行のために上下巻を合わせて一冊としている。
- 表紙絵が明るく、学習意欲を喚起している。学年にふさわしい色づかいである。

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	国語	種目	国語
----	----	----	----

発行者略称	15三省堂	教科書名	小学生の国語（小学生の国語 学びを広げる）
-------	-------	------	-----------------------

## 所 見

### 1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- 「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「話し合い」と「説明・報告」を中心的な教材とし各学年で五つの系列に分け、計画的かつ系統的に学習できるよう構成している。
- 伝統的な言語文化を学ぶために、音読・暗唱を学習の中心に据えた取り立て教材と関連教材を設定している。また、高学年では、古文、漢文などの古典教材を扱っている。

### 2 内容について

#### <基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫>

- 「覚えておきましょう」が設けられ、基礎的・基本的な言語言語技能の定着と他の学習への活用が図られている。
- 「〇年で学んだ漢字」「新しい漢字を学ぼう」のコーナーが設けられ、定期的に漢字に触れるよう工夫されている。
- 前学年で学んだ漢字が、絵と言葉で効果的に掲載されている。
- 教材の始めに新出漢字が紹介され、集中して学習しやすい。また、その後の教材の中で使い方を確かめることができる。

#### <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫>

- 作文を書くときの題材例が載っているため、教える側も児童も取り組みやすい。

#### <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫>

- 中学年以上の「書くこと」「話すこと・聞くこと」の教材では、「学習の進め方」を明示し、何をどのように学ぶのか見通しをもって学習できるように工夫されている。
- 学習の手引きは、角書きで示した学習のねらいを達成するための具体的な丁寧な学習過程を示し、児童が主体的に学習を進めていけるようになっている。

#### <言語感覚を養うための工夫>

- 本の紹介が効果的に明記しており、読書の幅を広げている。
- 進んで読書する子を育てるために単元末に「わたしの本だな」や「あまんさんのへや」、別冊に「読書の森」のコーナーが設けられている。
- 「図書館活用と情報リテラシー」という領域があり、情報を集めて整理したり、図書館を利用するときなどに活用できる。

#### <国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫>

- 伝統的な言語文化に関する教材や資料が、別冊の中に適切に掲載されている。
- 音読・暗唱を学習の中心に据えた取り立て教材と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材の中で取り上げた関連教材とが設定され、様々な場面で伝統的な言語文化に触れ、親しめるようにされている。

### 3 資料について

- 「学びを広げる」では、他教科や様々な場面で使える言葉の資料が載っている。
- 文章の理解を助けたり、想像を膨らませるのに適した、写真や挿絵、図が取り上げられている。
- 単元名や学習課題を色で囲ったり、文字を大きく明記したりして、わかりやすく提示している。

### 4 表記・表現について

- 分かち書きは2年途中までである。

### 5 全体的な特徴、その他

- 1年生は上下巻構成になっていて、巻末に「学びを広げる」が配置されている。2年生からは、本編と資料集「学びを広げる」の2分冊構成になっている。
- 親しみやすいキャラクターが、ナビゲーターとなっている。

# 教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	国語
----	----

種目	国語
----	----

発行者略称	11 学図
-------	-------

教科書名	みんなと学ぶ 小学校国語
------	--------------

所 見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「伝え合う力」の育成を図るために、特に「話すこと・聞くこと」では、「学級作り」「スピーチ」「話し合い・討論」「プレゼンテーション」の四つの系列に分け、計画的・系統的に学習できるよう構成している。</li> <li>○伝統的な言語文化を学ぶために、発達の段階に合わせて、昔話、神話、短歌、俳句、古文、漢文などの古典教材を扱っている。</li> </ul> <p>2 内容について</p> <p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての領域の学習活動に必要な言語の知識は、「言葉のきまり」「言葉の泉」のコーナーにまとめられ、学習の中で必要なことを確認することができる。</li> <li>○「漢字の部屋」では、漢字自体の構成や成立背景が述べられており、児童が興味関心を持って取り組める。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むレッスン」「メディアの目」「書く一書き方のまとめ方」「コミュニケーション」「読むために書く」などのコラム教材が単元の中に組み込まれ、思考力や表現力、伝え合う力などを身につけさせている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○書く単元では、創作文、意見文等の文章構成など、書くための手だてが具体的に例示しており、児童にとっては書きやすくなっている。</li> <li>○「読むこと」の教材では、「学習のてびき」で、文章の読み方、解き方が、「書くこと」「話すこと・聞くこと」の教材では、「学習の進め方」が明示され、何をどのように学ぶのか見通しをもって学習できるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読書の単元では、読み聞かせを聞いた後、グループで本を紹介し合ったり、キーワードがタイトルに入っている本を探したり、読んでもらった本の内容をさらに深めたりと活動が様々で面白い。</li> <li>○進んで読書する子を育てるために、単元末や読書教材後に「本と友達」のコーナーが設けられている。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が興味を持って、音読にも積極的に取り組める教材を発達の段階に合わせて構成している。</li> </ul> <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末や巻末の「国語のカギ」、巻末の「授業で使う言葉」では、学習のポイント（指導事項）やものの考え方、他教科にも役立つ内容がまとめられており、内容の理解や定着を図るよう工夫されている。</li> <li>○1年上巻では、インデックス方式のページ構成になっており、入門期に合わせた、楽しく意欲的に学習できるような工夫がされている。</li> </ul> <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分かち書きは、2年上巻の途中までである。</li> </ul> <p>5 全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イメージマップ、マンダラート、分類などの考えを広げる具体的な活動の例が示されていて、他教科の学習活動にも生かせる。</li> <li>○学び方や考え方を習得できそうな場面が多く設定されている。</li> <li>○学年の初めに「学級作り」の単元で言葉を繋ぎながらコミュニケーションをとっていく内容が工夫されている。</li> <li>○心に響く詩が多く掲載されている。</li> <li>○巻末に保護者向けのシラバス「保護者の方へ」が掲載され、保護者にとっても学習内容を理解しやすい。</li> <li>○全学年分冊となっている。</li> </ul>